

令和8年度使用教科書の採択結果及び採択理由一覧

大阪教育大学附属池田中学校

令和8年4月1日現在

科目	発行者の略称	採 択 理 由
国 語	教出	単元の最初に「学びナビ」で何をどのように学ぶかが示されており、生徒が学習の見通しを立てやすいよう工夫されている。また、学習の過程に即した教材の手引きが「みちしるべ」として示されているため、生徒が主体的に学ぶ手助けになると考えられる。加えて、「持続可能な未来をつくるために」や「情報・メディアと表現」等、独自の教材を設置し、生徒が自身の生活や社会とのつながりを意識しながら学習を進められるよう、工夫されている。
書 写	教出	国語の言語活動との連携が考えられた教材を含め、各教科の学習や将来社会に出た時に役立つ教材が豊富に掲載されており、実生活で活かせる力を養えんと考えられる。また、筆使いの図版が大きく配置されており、筆使いのポイントを掴みやすくなっている。
地 理	帝国	学習内容に応じた主題や課題を設定し、話し合いなど様々な対話的活動を通じて主題に向き合い、多様な立場を踏まえて合意形成する態度を身に付けられるよう工夫されている。また、持続可能な社会の形成事例について、6つのテーマを基に扱い、それらのテーマが公民や歴史と3つの分野で横断し学習できるよう工夫されている。
歴 史	帝国	写真や図版を効果的に取り扱えるよう学習内容とリンクし、物事を多面的多角的に捉える足掛かりとなっている。さらに、学習内容の習得や生徒の調べ学習を支援するデジタルコンテンツや巻末資料・年表・リンク集など多様な項目を網羅することで個別最適な学びを支援するとともに、学習内容が定着するような内容となっている。
公 民	帝国	豊富な具体的事例やビジュアル資料、大判イラストなどを用いることで、実社会に見られる課題の解決に向けた選択や判断に取り組む活動を行うことができるよう工夫されている。特に、合意形成に向けた議論の活動を充実させるなど、自主・自立の精神や社会参画に向けた態度を育成できるよう編集されている。
地 図	帝国	多様な地図や表などが掲載されており、学習のサポートとしての使い勝手も非常に良い。巻頭には、7ページにわたり「地図で考える持続可能な社会」と題された世界の課題を写真や表・図を地図とリンクさせたものがあり、生徒の深い学びを支援する教材が示されている。さらに、二次元コードを読み込むことで多種多様なデジタルコンテンツを利用することができるのも利点である。
数 学	日文	現在の教科書に加えてデジタルコンテンツが充実している。学びに向かう力の育成のヒントが書かれており、活かすことができる。各章の導入ページが使いやすい。
理 科	啓林館	各単元内の配列が、本校で考える授業の流れに即しており、授業に使いやすい。また、写真や図、資料が充実していて生徒の主体的な学びに適しており、参考資料としても使用しやすい。
音 楽	教芸	基礎的な楽曲から深く味わうことのできる楽曲まで幅広く掲載されており、文字とイラストや写真とのバランスが良く、楽曲のイメージが捉えやすいように工夫されている。また、合唱曲のレパートリーが多く掲載されており、生徒の状況の合わせて選曲することができる。
器 楽	教芸	資料が豊富で生徒にとって分かりやすく提示されており、各楽器の特徴を構造的に捉えつつ、奏法を技術とともに理解できるように構成されている。また、楽曲のレパートリーも多く習得内容に応じて選曲することができ、臨機応変に対応することができる。
美 術	光村	写真・図版の大きさが見やすく、レイアウトが良いため、生徒の興味・関心の向上が期待できる。基礎的な知識を身に付け、表現へと発展させる構成になっているため、生徒が深く理解しながら学習を進められる内容になっている。
保健体育	東書	補助教材などが充実している。デジタルコンテンツなども豊富にある。
技 術	東書	技科分野の目指している問題解決的な学習に重点が置かれており、社会的・経済的・環境的側面に関する記述もしっかり書かれている。社会での問題解決の例や技術科における見方・考え方のアプローチもあり、探究的な学習にも則している。また、シーズループとニーズループを考えた探求のトリプルループモデルの考え方が採用されており、特にシーズの部分における詳しい記載が多い。そのため、現行の学習指導要領の内容がしっかりとおさえられている。写真や図も見やすく情報量も適切である。

家 庭	東書	巻末の特集など生活に役に立つ工夫が要所要所にされている。また、持続可能な社会の構築を目指し、課題解決に向け生活を工夫する学習がすべての単元にうまく取り入れられている。エシカル消費やSDGsなど、これからの社会を構築するのに大切な視点を押さえている点が良い。
英 語	三省堂	難易度が本校の生徒に適している。また、様々なジャンルのトピックが扱われており、内容が豊富である。構成においては、「見通しを立てる→知識技能を習得する→知識技能を活用する→学習を振り返る」というように学習者が主体的に学ぶための工夫がされている。
道 徳	東書	巻末のふりかえりワークシートが評価に使いやすい。巻末に「人権・いじめ」や「国際理解」などの内容でテーマごとに読み物を整理しているのが、系統だった内容項目の指導に役立てることができる。読み物教材については力のある教材が多数みられるとともに、資料や図絵、写真など、読み物をより効果的に活用させる工夫がみられる。